

プレスリリース

2015年12月16日
呉市かまがり天体観測館

太陽系外惑星に呉市かまがり天体観測館が提案した名前が決定。

現在は単なる記号や数字の羅列で呼ばれている個々の太陽系外惑星に、もっと親しみやすい名前を一般公募によって付けようという初の試みが、世界の天文学者で構成される国際天文学連合（IAU）によって行われ、おうし座 ϵ 星（アイン）の周りを回る惑星に対して当館が提案した“Amateru”（提案時の名前は Amaterasu）が正式名称として採用されることとなりました。

IAU の公式サイト：<http://nameexoworlds.iau.org/>

日本の支援サイト：<http://exoplanet.jp/>

Amateru は 2007 年に日本の研究グループが岡山天体物理観測所の 188cm 望遠鏡を使って発見した天体で、世界で初めて散開星団に見つかった惑星です。おうし座 ϵ 星は、ちょうど牡牛の左目の部分にあたる星で、3.5 等星であることから肉眼でも十分に確認することができます。日本の神話に登場する天照が伊弉諾の左目から生まれたことになんで、提案した名前です。

日本のグループが見つけた惑星に、日本の団体が、日本に関わる名前を付けることができたというのはとても感慨深いものがあります。地方の小さな天文台が宇宙を通して、世界と繋がっていける、また人類の歴史に貢献できたことを大変嬉しく感じています。

<問合せ先>

〒737-0402 呉市蒲刈町大浦 8160

呉市かまがり天体観測館 館長 山根 弘也

TEL 0823-66-1166 Fax 0823-66-1169

E-mail hironari@honey.ocn.ne.jp

URL <http://kamatn.net/>